



「**実り**」の 2 学期」を振り返って

校長 高瀬 知郎

ウィズコロナの学校生活が定着

昨年度までの 2 年間は、「感染拡大防止」を最優先に考え、毎年欠かさず実施していた各行事を、中止したり大幅に縮小したり時期を大きく変更したりして対応せざるを得ませんでした。しかし、発達段階に即して計画的に実施していた教育活動を経験しないまま学齢を重ねてしまうことによる「学び残し」の影響は想像以上に大きく、一つ一つの行事や活動がどれほど大切であったかがわかってきました。



そこで今年度は、重点を「学びの保障」に切り替え、感染防止に最大限の配慮をしつつ、「今しか学べないことを、しっかり学ぶ」「学びを先送りしない」を合い言葉に、教育活動の充実に力を入れて取り組んできました。その結果、感染はゼロではないが、貴重な学びを保障できる体制、「ウィズコロナの学校生活」が定着してきました。

2 学期の行事、大成功！

この考えに基づいてコロナに臆せず実施した 2 学期の行事は、いずれも大成功を収めています。10 月の 5 日間、フル規格での「14 歳の挑戦」は、5 月の修学旅行に続いて実に 3 年ぶりの実施でした。10 月下旬には、各クラスが心を込めて作り上げてきたハーモニーを披露し合った「合唱コンクール」。合唱リーダー研修会等の取組が功を奏し、各学年ともに仕上がりが素晴らしく、合唱のレベルが一度に数段階もアップしたかのように感じられました。

残念ながら合唱コンクールは、飛沫による感染防止のため学年ごとの開催としましたが、生徒が静かな状態で参加できる行事、生徒総会や講演会等は、全校生徒が体育館に集合して行うなど、地域・学校の感染状況のみならず活動内容や実施方法を含めて、参加の仕方を十分に検討した上で実施しています。

先輩に学ぶ！「藤井一至さん講演会」開催

昨年度 3 学期の始業式で紹介した雄中の大先輩、藤井一至さんの本校での講演会が実現しました。藤井さんは、本校卒業後、富山中部高校、京都大学農学部で研鑽を積み、現在は国立森林総合研究所にお勤めの農学博士で、「土の研究」の第一人者です。数々のメディアにも出演し、ベストセラーの著書もある世界的研究者である藤井さんが、母校 雄山中学校で、「研究の楽しさ」について中学生に直接語りかけてくださいました。温かい人柄がにじみ出るような素敵なお話で生徒は聴き入っていました。「したいことより続けられることを。」「Enjoy Your Science!」等の藤井さんの言葉をかみしめながら、将来の生き方について考えを深めるきっかけにしてほしいものです。



校外学習（2年生）金沢市



11月30日（水）2年生は、金沢市内で校外学習を行いました。班ごとに活動内容を計画して、和菓子づくりや金箔張りを体験したり、古い街並みや美術館を見学したり、金沢の文化や歴史に触れてきました。



今回の校外学習では、金沢の文化や歴史について、より深く知ることができてよかったです。班別活動では、班員のみんなと協力して目的地の金沢カタニを目指しました。金箔貼り体験では、自分オリジナルの作品を作ることができて楽しかったです。

築瀬

僕たちの班は、昼食に何を食べるか決めていなかったため、バラバラになりそうになりました。体験学習や見学は予定どおり順調に進んだので、相談して計画を立てておくことの大切さがよく分かりました。忍者寺では、いろいろな仕掛けがあり、昔の人の知恵に大変驚きました。

塚本

NIE（エヌ・アイ・イー）研究発表会



※ NIE（Newspaper in Education）とは、学校などで新聞を教材として活用する活動です。

11月17日（木）に、立山中央小学校と本校を会場として、NIE 研究発表会を開きました。1年6組は展開教室で社会、2年1組は、ランチルームで英語の公開授業を行いました。また、立山中央小学校では、全校児童による道徳の公開授業がありました。



全体会の様子



社会の公開授業の様子



英語の公開授業の様子

北信越中学校駅伝



11月26日（土）晴天の中、第16回北信越中学校駅伝競走大会が長野県長野市営陸上競技場周回コースで開催され、北信越地区5県から各県の代表29校が参加しました。本校からも男子駅伝部が参加し、力強い走りを見せてくれました。



1月の行事予定



12月24日（土）	冬季休業	（～1月9日）	1月10日（火）	3学期始業式、書き初め大会
28日（水）	学校閉庁	（～1月3日）	16日（月）	学校納金口座振替日
1月 9日（月）	成人の日		25日（水）	3年進路懇談会②（～26日）

